

(ご案内1) 次回のまちづくり研究会は2月24日です。是非ご参加を！

今までに、将来の街を考えるワークショップとして、将来の夢をコラージュで表現する、再開発手法を用いた計画案づくり、地区計画手法を用いた計画案づくり、をしてきました。今年度は、具体的にこの街に何が必要なのか？を検討する2回のまちづくり研究会を実施しています。第一回の外部空間を考えるワークショップに続き、第二回は必要な施設を考えるワークショップです。まだ一度も参加していない方も、この機会に是非、ご参加ください。

■第二回まちづくり研究会：「将来の街に必要な施設を考える」

■趣旨：今、私たちの街に無くて不便をきたしているもの、遠くにあり苦勞をしているものなど、将来の街にあつたら、便利になる、楽しめる、豊かになるような施設を検討します。例えば、皆が集まれる場所が近くにないので集会所が必要、歯医者さんが遠いのでクリニックが欲しい、安いスーパーマーケットが欲しい、本を読みながらコーヒーが飲めるようなブックカフェ、オシャレなインテリアショップや一杯飲み屋が欲しい。

布団が洗濯乾燥できるようなコインランドリーが欲しい。運動不足になりがちなのでスポーツ施設が欲しい。高齢者向けの専用住宅や保健相談室が欲しい、子育て世代のために、保育施設や子育て支援センターが必要、誰でもが安く展示ができるギャラリーが欲しい、遠くが見渡せるような無料展望台が欲しい、若い人が来てほしいので安い賃貸住宅やシェアオフィスが欲しい。など、色々あるかと思ひます。皆さんと一緒に考えましょう！

- ・日時：2019年2月24日（日）14:30～16:30（終了後懇親会）
- ・場所：港区麻布総合支所「区民協働スペース」
- ・対象：六本木三丁目東地区まちづくり協議会会員

【講師ご紹介】
連 健夫 先生
東京都立大学 大学院卒、
英国 AA スクール大学院留学、
連健夫建築研究室一級建築事務所設立、
現在、港区街づくりコンサルタント
早稲田大学、芝浦工業大学講師
2016年より協議会コンサルタント



(ご案内2) 2019年度「通常総会」開催予定

「2019年度通常総会」を下記にて開催致します。
詳細は追ってご連絡の予定です。

- 1、日時：2019年5月26日（日）10:30～13:00
・総会 10:30～12:00
・懇親会（昼食）12:00～13:00
- 2、会費：2000円
- 3、会場：アークヒルズコミュニティホール（元『集会所』）
（アークタワーズイースト2F）
六本木1-3-39・・・右地図ご参照
（ウエストとサウス間の通路を入り突き当り右）
ご不明な点は、植木までお問合せください。



常時、協議会の会員を募集しています。共にまちづくりを進めましょう！

協議会の趣旨にご賛同いただける方々には、是非、ご入会と対話への参加をお願い申し上げます。
活動は総会や年数回の研究会（含む意見交換会）、まちづくりルール審査、まちづくりNEWS発行などです。

■入会方法など

区域内の地権者並びに居住者の方ならどなたでもご入会いただけます。
当協議会は会員からの会費と補助によって運営していますため
年会費（2000円／口以上寄付方式）をお願いしております。

■お問い合わせ窓口

協議会への参加申込みや、その他各種のお問い合わせにつきましては、下記事務局、植木までお気軽にお寄せ下さい。

事務局（副会長）植木裕
〒106-0032 東京都港区六本木3-4-33 マルマンビル9F
TEL / FAX : 03-3583-6413
e-mail : marumanbiru@nifty.com

「六本木三丁目東地区まちづくり協議会」は、平成20年10月16日付で「港区まちづくり条例」に基づき港区に申請登録し承認された六本木三丁目3番、4番、5番を指定地域として、同地域を「魅了あるまち」に発展させる「まちづくり」の方向を研究協議している協議会です。尚、当協議会は特定の個人・団体の利益増進、宗教活動、政治活動を目的としておりません。

第23号

まちづくりNEWS

2019年2月発行
六本木三丁目東地区まちづくり協議会事務局
Roppongi Sanchoe East Town Planning Council

「まちづくり協議会の今後」

「六本木三丁目東地区まちづくり協議会」（以下「協議会」）は昨年5月の「通常総会」において「協議会の今後の立場と役割」を審議確認しました。その骨子は「協議会は『港区まちづくり条例』に基づき協議会地域をより安全安心で住みやすい街にするための有効な情報を会員に提供し続ける」「まちづくりの手法は協議会としては統一しない」というものです。

協議会はこの決定に沿って、昨年末から「安全安心で住みやすい街の必須要件」を「まちづくり研究会」を開催してまとめることを続けています。その第1回目の昨年10月度研究会では「将来の街に必要な外部空間は何か」をワークショップでまとめました（詳細は当ニュース2～3頁参照）。今年は来る2月24日（日）に第2回目の研究会を開催し「将来の街に必要な施設」を考えることにしています（第2回目概要は当ニュース4面をご参照下さい）。

昨年末、協議会地域内で「再開発」が行われることが住友不動産（株）より発表され、1月27日（日）にその「六本木三丁目中央地区市街地再開発準備組合」設立総会が開催されました。（詳細は当頁下段記事ご参照下さい）こうした周辺の環境変化の中で、協議会は今後も昨年決定した基本方針の下に活動を継続し、発足した「再開発準備組合」には「より安全安心で住みやすい街づくり」を計画推進されるよう「まちづくり研究会」での「会員の結論」を積極的に提供提案し「協議調整」の下地として行く方針です。

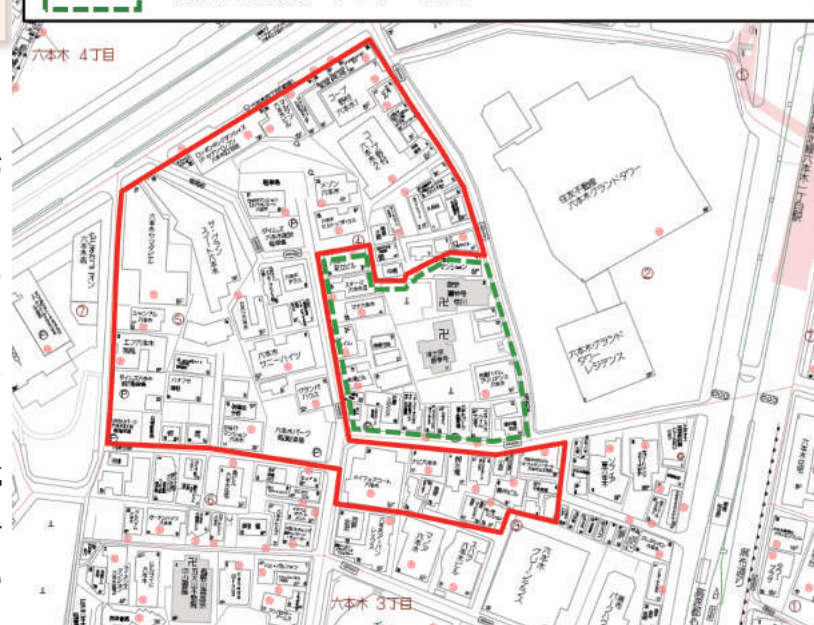
市街地再開発準備組合設立と当協議会の立ち位置について

上記、市街地再開発準備組合設立に対して、当協議会は変わらずそのまま継続して活動します。

具体的には、港区条例で認定された「まちづくりルール」による審査。及び、現在ワークショップによって取りまとめ中の「この街に必要なもの」について、再開発準備組合に対して提示し、再開発事業の中での実現に向けて協議・調整していくことになります。

そのため、再開発準備組合の役員との重複就任は、協議会役員の過半とならない範囲でのみ認めることとし、協議会の独立性を保持しています。

「六本木三丁目中央地区市街地再開発準備組合」対象地区の範囲
「拡張区域検討エリア」の範囲



市街地再開発準備組合設立総会で配布された再開発準備組合対象地区範囲図をそのまま掲載（協議会区域とは異なります）

【六本木三丁目東地区まちづくり協議会，まちづくり研究会 第一回：将来の街に必要な外部空間を考える】

■日時：2018年10月14日（日）14：30～16：30

■場所：港区麻生総合支所「区民協働スペース」

■参加者（22名）：六本木三丁目東地区まちづくり協議会研究会
連（港区まちづくりコンサルタント）
来賓：学生（早稲田大学、首都大学東京）

■趣旨：街には、皆が集まる広場が必要です。平常時における癒しの場、イベントの場、盆踊り、お祭り、遊具公園、散策路、池、緊急時の炊き出しや支援物資の場としても広場、公園、庭園は大切です。最近では運動器具付の公園なども話題になっています。広場の周りに必要な施設、設備（店舗、倉庫、自販機、トイレ、防犯カメラ等）を、皆で考えましょう！

■スケジュール

14：30～挨拶（水橋会長）、司会進行（植木）
14：35～ワークショップの説明、事例紹介（連）
15：00～グループで検討し、まとめる。
15：50～発表、コメント（小川+連）
16：15～まとめ（連）、
16：25～挨拶、今後について（植木）

外部空間事例



木陰とベンチ



大階段・エレベーター



触れられる水、池



庭園・散策路



屋根付き広場



遊び場・ベンチ



運動、健康器具



オープンカフェ

A班



- ①自然系：四季を感じる植栽、緑の多い広場
鳥が立ち寄れる小さな森、散策路、池
屋上庭園、歴史の継承（坂、路地）
- ②ベンチ：憩いの場、弱者の居場所（高齢者、障害者）、景色に馴染むデザイン
- ③オープンカフェ：住民が集まれる場
- ④屋根のある広場、ピロティー、囲まれた広場
- ⑤移動系：エレベーター、エスカレーター、大階段、スロープ
- ⑥その他：東屋、交番、防災倉庫、自販機、トイレ、災害時のトイレ

B班



- ①屋根のある広場・ピロティー：多目的広場
イベントスペース、屋外で映画、
- ②オープンカフェ：屋根付広場に隣接
※誰でも利用できるのが良いのか？
- ③運動・健康・ゲーム系：健康器具、ボールを使ったゲーム、ランニングコース→防犯上も良い
- ④自然系：庭、庭園、神社、池、井戸
- ⑤災害時：マンホール、かまどベンチ、
屋根付広場はフェーズフリー
- ⑥意見：お昼に弁当、ここから出たくない。

C班



- ①防災・移動：災害時のトイレ、トリアージ→広場
かまどベンチ、屋外エスカレーター、防災井戸
- ②自然系：四季を感じる広場、木陰+ベンチ
花、桜
- ③広場・施設：平らなイベントスペース、
屋根付き、噴水、オープンカフェ
- ④アットホーム：個人店（面白い、特徴がある、
近所との繋がりができる。店舗を見える所に
配置する。→にぎやかさ。
※ビオトープは蚊が出る。→水が動いていればOK。



■外部空間の事例説明

平常時も災害時にも役に立つ
フェーズフリーの考え方が大切！

※トリアージ：緊急時、けがやダメージの状況に応じて治療順などを判断すること



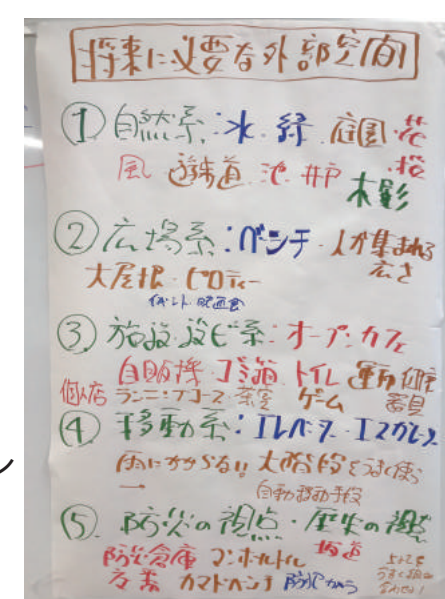
■グループで検討

フリーディスカッション→
付箋に記入→まとめる。



■グループの発表

質疑とディスカッション



■まとめ（将来に必要な外部空間）

- ①自然系：水、緑、庭園、花、桜、風、遊歩道
池、井戸、木陰
- ②広場系：ベンチ、人が集まれる広さ、平らである。
屋根付き、ピロティー、イベントができる。
- ③施設・設備系：オープンカフェ、自販機、ゴミ箱
トイレ、運動健康器具、個人店、茶室
ランニングコース、ゲーム
- ④移動系：エレベーター、エスカレーター、雨にかからない
大階段をうまく使う、自動移動手段
- ⑤防災の視点：防災倉庫、マンホールトイレ、かまどベンチ、交番、防犯カメラ
- ⑥歴史の視点：坂道

→①～⑥をうまく組み合わせる！